

2 事業の概要と成果	
<p>(1) プロジェクト目標の達成度 (今期事業達成目標)</p>	<p>ハザン省、ライチャウ省の対象地域に暮らす少数民族の若者が収入を向上させていくための環境が整備され、若者が収入を増加させる。</p> <p>3年事業の2年目として、研修センター7施設が完成し、地域の若者や住民が主体となり維持管理を行っている。各コミュニティの若者をはじめとした住民が情報収集やミーティングのために活用できる施設が整備されたことで、少数民族の若者が収入を向上させていくための環境が整備された。事業の成果を測るためのインタビューを通して、これまで伝統的な栽培・飼育方法に頼っていた若者たちがより専門的な知識を身につけ、技術を向上させていることを確認した。また、これまで対面式に限定されていた生産物の販売方法にSNSやインターネットを活用し始めたことから、若者の収入増加につながっていくことが期待される。食品加工のトレーニングを受講した若者たちもすでに学んだ知識を活用して商品の販売を開始しており、収入向上につながっている。</p> <p>1年次のトレーニング受講者に対して行った調査では、トレーニングに参加した若者のうち88%がトレーニング受講後の1年間で収入を10%以上向上させたことが確認された。世帯経済の管理に参加するようになった女性は増加率202%（32%から97%に増加）となった。これらの状況から、少数民族の若者の収入向上が確実に進んでいると言える。</p> <p>ハザン省、ライチャウ省の対象地域で少数民族の若者が職業訓練を受けられる施設が整備され、若者が農業や畜産に関する知識や技術を向上させる。</p> <p>2年次の活動として、職業訓練を受けられる研修センター7施設の整備および備品支給を行った。センターの適切な維持管理が行われるよう維持管理トレーニングを実施し、完成したセンターは各コミュニティに譲渡した。また、生計向上トレーニング、経営スキルトレーニング、ジェンダー平等トレーニングを通して、少数民族の若者が農業や畜産に関する知識および技術を向上させることができた。生計向上トレーニング後の事後テストで正解率80%以上だった受講者は88%に上った。</p> <p>上述したプロジェクト目標および今期事業達成目標の達成度から、上位目標である「ハザン省、ライチャウ省に暮らす少数民族の若者が地元で技術や知識を身につけて、伝統的な方法に限らない収入向上の道を切り開いていけるようになる」の達成見込みが立ちつつあると言える。</p>
<p>(2) 活動内容</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で当初計画よりトレーニングの開始が遅れたが、2022年8月以降に順次トレーニングを開始し、すべての活動を事業期間内に終えることができた。</p> <p><u>1. 若者の生計向上能力強化</u></p> <p>1.1 生計向上トレーニング</p> <p>1.1.1 農業および畜産技術トレーニング</p> <p>ハザン省およびライチャウ省において受講生を公募し、集まった15歳～30歳の若者を対象にヒアリング調査を行い、トレーニングへの参加意思や属性などを確認して受講生を選定した。</p> <p>ハザン省では、2022年6月20日～7月30日に郡農業農村開発局、郡女性連合、郡若者連合とともに、受講生640人（女性410人（64%）、男性230人）を選定した。受講生の100%が少数民族であ</p>

り、2%が自身もしくは家族に障害があると自認している。また、65%が世帯月収1,500,000 VND（約64ドル）以下であった。

ライチャウ省では、7月18日～8月5日に郡農業サービスセンター、郡女性連合、郡若者連合とともに、受講生400人（女性241人（60%）、男性159人）を選定した。受講生の100%が少数民族であり、1%が家族に障害があると自認している。また、100%が世帯月収1,500,000 VND（約64ドル）以下であった。

ハザン省では、2022年9月12日～10月28日に受講生640人に対して養豚（繁殖用）、養豚（食用）、養鶏、ヤギ、有機野菜、トウモロコシ、米の7つのコースの座学（講義2日間、実演指導1日間）を行い、その後に実践指導（15日間相当）を実施した。このトレーニングは、8コミュニティで32クラス（農業コース：16クラス、畜産コース：16クラス）に分かれて行った（各コースの受講生の内訳は以下表の通り）。講師は、郡農業農村開発局職員が担当した。

コース	女性	男性	計
1. 養豚（繁殖用）	118人	30人	148人
2. 養豚（食用）	47人	38人	85人
3. 養鶏	20人	17人	37人
4. ヤギ	27人	33人	60人
5. 有機野菜	161人	49人	210人
6. トウモロコシ	30人	50人	80人
7. 米	7人	13人	20人
計	410人	230人	640人

（コミュニティ毎の内訳は別添1参照）

ライチャウ省では、2022年8月1日～10月28日に受講生400人に対して養蜂、養鶏、大豆栽培、ピーナッツ栽培の4つのコースの技術トレーニング（座学2日間、実演指導1日間）を行い、その後に実践指導を実施した。このトレーニングは、5コミュニティで20クラス（農業コース：3クラス、畜産コース：17クラス）に分かれて行った（各コースの受講生の内訳は以下表の通り）。講師は、郡農業技術サービスセンター職員が担当した。

コース	女性	男性	計
1. 養鶏	204人	116人	320人
2. 養蜂	4人	16人	20人
3. 大豆栽培	20人	20人	40人
4. ピーナッツ栽培	13人	7人	20人
計	241人	159人	400人

（コミュニティ毎の内訳は別添1参照）

1.1.2 まとめワークショップ

農業および畜産技術トレーニングの実演指導終了後、各コミュニティでトレーニングの受講生が学びや経験を共有するワークショップを開催した。ハザン省では2023年1月12日～2月23日に計16回（2コース×8コミュニティ）のワークショップを開催。郡農業農村開発局職員が講師となり、トレーニングの受講生、コミュニティリーダー、郡若者連合、プラン・インターナショナル・ベトナムの職員など、計815人（女性503人、男性312人）が参加した。

ライチャウ省では、2022年12月24日～2023年1月10日に計11回（養鶏8回、養蜂1回、大豆1回、ピーナッツ1回）のワークショ

ップを開催。農業サービスセンター職員が講師となり、トレーニングの受講生および地方行政職員、プラン・インターナショナル・ベトナムの職員など、計477人（女性283人、男性194人）が参加した。

ワークショップでは現場視察を通じて、受講生が生産した農作物や畜産物の良い点、悪い点について学び合い、技術向上に生かした。

1.2 経営スキルトレーニング

1.2.1 会計知識トレーニング

ハザン省では2022年8月17日～11月14日に農業および畜産技術トレーニングの全受講生640人（女性410人、男性230人）、ライチャウ省では2022年11月6日～12月15日に全受講生400人（女性241人、男性159人）を対象に、会計知識トレーニングの基礎クラスを実施した。財務・会計講座の講師経験がある郡女性連合職員が講師となり、家計簿の付け方、収益と利益の計算原則、生産計画の策定方法、地域の農業銀行や村の共済システムへの貸付申請の方法、貸付を受けた場合の返済計画の作成、政府による経済支援の施策などについて指導した。

また、1年次の受講者からさらに学ぶ意欲がある若者を特定し、発展クラスを実施した。ハザン省では2022年12月7日～31日に160人（女性99人、男性61人）、ライチャウ省では2023年1月15日～2月5日に100人（女性72人、男性28人）が参加した。基礎クラスと同様に郡女性連合職員が講師となり、エクセルを応用した費用や収益の計算、これらに基づく価格の設定方法などについて指導した。

1.2.2 マーケティング知識トレーニング

ハザン省では2022年8月20日～12月12日に農業および畜産技術トレーニングの全受講生640人（女性410人、男性230人）、ライチャウ省では2022年12月16日～2023年1月15日に全受講生400人（女性241人、男性159人）を対象に、マーケティング知識トレーニングの基礎クラスを実施した。マーケティング講座の講師経験がある郡女性連合職員が講師となり、市場調査の方法、国および省の市場の状況、ソーシャルメディアを利用したビジネス、Facebookの活用方法などについて指導した。

また、1年次の受講者からさらに学ぶ意欲がある若者を特定し、発展クラスを実施した。ハザン省では2022年12月10日～2023年1月15日に160人（女性99人、男性61人）、ライチャウ省では2023年1月6日～15日に100人（女性72人、男性28人）が参加した。基礎クラスと同様に郡女性連合職員が講師となり、販売におけるスマートフォンやパソコンの活用方法、市場での販売実践などについて指導した。

1.2.3 環境保護知識トレーニング

ハザン省では、2022年11月10日～12月19日に農業および畜産技術トレーニングの全受講生640人（女性410人、男性230人）、ライチャウ省では、2022年11月5日～18日に全受講生400人（女性241人、男性159人）を対象に、地域の自然環境を破壊することなく生産活動を実施できるよう環境保護知識トレーニングを実施した。ハザン省では郡農業農村開発局職員、ライチャウ省では農業サービスセンター職員が講師となり、肥料を合理的に使用する方法、動物の排泄物や有機ゴミからバイオ肥料を作る技術、マメ科植物から緑肥を作る技術、畜産における廃棄物処理と養鶏におけるバイオパッドの使用方法、微生物肥料である赤虫の飼育方法などについて指導した。

1.2.4 コンピュータ・スキルトレーニング

ハザン省では2022年10月20日～11月28日に農業および畜産技術トレーニングの受講生のうち160人（女性82人、男性78人）、ライチャウ省では2022年12月23日～2023年1月14日に農業および畜産技術トレーニングの受講生のうち100人（女性62人、男性38人）を対象に、2日間のコンピュータ・スキルトレーニングを実施した。コンピュータ技術を取得した学校の教師やコンピュータ講座の講師経験がある郡若者連合職員が講師となり、ワード、エクセル、Eメールの設定と使用方法、インターネットの活用方法などコンピュータに関する基礎知識を指導した。受講生はコンピュータで家計の収入・支出を管理すること、生産した農産物や畜産物をオンラインで販売する方法について理解を深めることができた。

1.3.1 市場調査結果共有ワークショップ

新型コロナウイルスの影響により1年次で未完成だった食品加工トレーニングマニュアルの作成を自己資金で行った。1年次に実施した市場調査の結果、各郡において以下の食材が食品加工トレーニングの食材として提案された。

省	郡	食材
ハザン省	ホアンスフィ郡	豚肉、大豆
	シンマン郡	はちみつ、生姜
ライチャウ省	フォントー郡	はちみつ、バナナ

食品加工トレーニング受講者は以下の基準をもとにハザン省では16人（うち女性8人（50%）、ライチャウ省では10人（うち女性5人（50%））のトレーニング受講者を特定した。

- 民族
- 性別
- 障害の有無
- 世帯収入
- 教育・職業訓練の経歴
- 雇用状況
- トレーニングを修了する意思の有無
- 地域の若者起業家を支援する体制の有無

これらの結果を共有することを目的とした市場調査結果共有ワークショップをハザン省では2022年10月26日～11月27日、ライチャウ省では2022年10月27日～12月15日に実施した。ハザン省では郡農業農村開発局職員、地域住民、地方行政職員、プラン・インターナショナル職員などを含む535人（女性336人、男性199人。うち計上対象者319人）、ライチャウ省では農業サービスセンター職員、地域住民、地方行政職員、プラン・インターナショナル職員などを含む161人（女性102人、男性59人）が参加した。ハザン省では郡農業農村開発局職員が、ライチャウ省では農業サービスセンター職員がファシリテーターを務め、市場調査の結果や経営管理トレーニング、食品加工トレーニングの内容とその重要性などについて共有した。

1.3.2 経営管理トレーニングの実施

ハザン省では郡農業農村開発局と連携して2022年11月13日～2023年1月15日に1.3.1で特定した受講者16人、ライチャウ省では郡農業サービスセンターと連携して2023年2月11日～13日に1.3.1で特定した受講者10人を対象に経営管理トレーニングを実施した。

ハザン省では人民委員会と農業農村開発局が、ライチャウ省ではプラン・インターナショナルのパートナー団体 REACH の職員が講師を務め、加工食品の値段の設定方法、販売方法、地域の経営者との連携などについて説明することで、受講者が起業に必要な基本的な知識について理解を深めることができた。

1.3.3 食品加工トレーニングの実施

ハザン省では2022年11月16日～2023年2月20日、ライチャウ省では2023年2月25日～26日に1.3.2 経営管理トレーニングを修了した受講者26人（ハザン省16人、ライチャウ省10人）を対象に食品加工トレーニングを実施した。1.3.1で特定された食材を用いて起業している経営者が講師となり、食材の加工方法や、適切なパッケージ方法などについて実技指導を行った。受講者は地域でロールモデルとなる経営者から学ぶ機会を得ることができ、自身が関心のある食材の加工方法について理解を深めることができた。また、食品加工トレーニングを修了した受講者に食品加工のための備品を自己資金で支給した。トレーニングの受講者は今後これらの備品を用いて食品加工を行い、収入を向上させることが期待される。

2. 女性の経済活動への参加促進

2.1 若者対象のジェンダートレーニングの実施

1年次にトレーナー研修に参加した郡女性連合と郡若者連合の職員が講師となり、若者対象のジェンダー啓発活動を実施した。ハザン省では2022年9月28日～11月18日に農業および畜産技術トレーニングの全受講生640人（女性396人、男性244人）を対象に、ライチャウ省では2023年1月13日～2月20日に全受講生400人（女性260人、男性140人）を対象に実施した。

トレーニングでは、ジェンダーに関する基本的な概念、ジェンダー平等促進に向けた解決策やエンパワーメントの重要性などについて事例を用いながら説明した。受講生は、家計収入を向上させる際に女性が資金を所有、管理し、その用途について決定する機会を増やすことの大切さについて学んだ。また、家計収入における男女間の格差、地域に根づくジェンダー差別、早すぎる結婚などの課題についても理解を深めた。またトレーニングの知識を用いて、若者たちは月に一度、ユースクラブでジェンダーをテーマにしたミーティングを行った。

2.2 住民や行政職員対象のジェンダー啓発活動

<公開対話会>

郡女性連合および郡若者連合と連携し、住民や行政職員対象のジェンダー啓発活動（公開対話会）を各コミュニティで年1回実施した。ハザン省では2023年1月7日～2月9日に実施し、コミュニティリーダー、3.2に後述するユースクラブのメンバー、保護者、農業および畜産技術トレーニングの受講生など、合計512人（女性308人、男性204人。うち計上対象者488人）が参加した。ライチャウ省では2022年5月25日～2023年2月25日に実施し、ユースクラブメンバーや地域住民など合計275人（女性182人、男性93人）が参加した。両省において1年次にトレーナー研修に参加した郡女性連合と郡若者連合の職員がファシリテーターとなり、少数民族の女性の能力を強化するため、1年次のトレーニング受講者、特に若い女性の生計活動の成功体験を共有した。また、若者が生計を向上させる際に直面するジェンダーの課題や解決策について話し合った。

<コミュニティイベント>

郡女性連合と郡若者連合と連携し、地域住民を対象としたコミュニティイベントを実施した。ハザン省では2022年8月22日～2023年2月12日に各コミュニティで3回ずつ実施し、ユースクラブメンバー、郡女性連合、郡若者連合、警察関係者、保護者、地域住民など、合計259人（女性143人、男性126人）が参加した。ライチャウ省では2022年5月19日～10月25日に各コミュニティで3回ずつ実施し、ユースクラブメンバー、郡女性連合、郡若者連合、警察関係者、保護者、地域住民など、合計333人（女性218人、男性115人）が参加した。イベントではジェンダー平等の障壁となっている慣習に関して議論を行い、家庭内における男女の役割とその改善に関する話し合いなどを行った。

また、ライチャウ省で1年次に4コミュニティで未完了だったコミュニティイベントおよび公開対話を2022年5月16日～8月6日に自己資金で実施した。ユースクラブメンバーや郡女性連合、郡若者連合、警察関係者、保護者、地域住民など合計392人（女性311人、男性81人）が参加した。

3. 若者の収入向上を支援する環境整備

3.1 研修センターの建設および備品支給

3.1.1 研修センターの建設

ハザン省ではホアンスフィ郡バンルオクコミュニティ、トゥニャンコミュニティ、チエンホーコミュニティの3コミュニティ、シンマン郡タニウコミュニティの1コミュニティの合計4コミュニティで研修ルーム、男女別トイレ付の研修センターが完成した。シンマン郡タニウコミュニティでは、新たに建設する研修センターの表門の鍵の所有権について、研修センターと同じ敷地内に建物を所有する他の政府機関と協議が難航した。関係者間で協議した結果、新しい門の設置はとりやめ、既存の門を研修センターの表門として利用することとなった（変更承認申請第2号）。各コミュニティの着工日、完成日、落成式は以下の通り。

ハザン省	コミュニティ	詳細
ホアンスフィ郡	バンルオク	着工日:2022年11月30日 完成日:2023年2月25日 落成式:2023年2月26日
	トゥニャン	着工日:2022年12月5日 完成日:2023年2月25日 落成式:2023年2月27日
	チエンホー	着工日:2022年11月22日 完成日:2023年2月25日 落成式:2023年2月28日
シンマン郡	タニウ	着工日:2022年11月7日 完成日:2023年2月26日 落成式:2023年2月28日

ライチャウ省ではフォントー郡ナムセコミュニティ、コンラオコミュニティ、ホアンテンコミュニティの合計3コミュニティで研修ルーム、男女別トイレ付の研修センターが完成した。各コミュニティの着工日、完成日、落成式は以下の通り。

ライチャウ省	コミュニティ	詳細
フォントー郡	ナムセ	着工日:2022年12月1日 完成日:2023年2月20日 落成式:2023年2月24日

	コンラオ	着工日：2022年9月29日 完成日：2023年1月10日 落成式：2023年2月19日
	ホアンテン	着工日：2022年11月1日 完成日：2023年2月17日 落成式：2023年2月21日

落成式には、地方行政職員、住民、郡若者連合、受講生の若者代表などが参加した。建設した研修センターは、2023年3月から本事業で実施するトレーニングやワークショップの会場や地域の集会場などとして有効に活用されている。また、研修センターで農業および畜産技術トレーニングの全受講生が集まり、生計向上に関する情報共有を行い、コンピュータやインターネットを積極的に活用して新しい情報を取得しているほか、生産した農畜産物を展示できるようになった。

3.1.2 備品の支給

ハザン省およびライチャウ省で実施した3.1.1の落成式に合わせ、各研修センターで使用する備品を以下の通り支給した。

- 机 (15台)
- イス (15脚)
- テレビ (1台)
- プロジェクター/スクリーン (1台)
- ホワイトボード (1台)
- 書棚 (1台)
- 書籍 (1セット)
- コンピュータ (1台)
- インターネットルータ (1台)
- メガホン (1個)
- デジタルカメラ (1個)

農業・畜産技術、経営管理、ジェンダー平等などに関する書籍を置く図書コーナーを整備し、生計向上に携わる若者や他の地域住民が情報収集することができるようになった。より多くの受講生が研修センターを快適に利用できるようにするため、各研修センターにコンピュータ (1台) および書棚 (2台) を追加で支給した (事業変更承認申請1号)。

3.1.3 維持管理トレーニングの実施

ハザン省およびライチャウ省では3.1.1の落成式に合わせ、建設した研修センター (計7か所) の維持管理トレーニングを実施した。プラン・インターナショナルの職員、ユースクラブメンバー、教師、住民代表など、ハザン省では76人 (女性38人、男性38人。うち計上対象者64人)、ライチャウ省では60人 (女性36人、男性24人) が参加した。コミュニケーション代表者がファシリテーターとなり、研修センターの設備の使用方法、設備の保守、管理、修理方法、維持管理費用に関する規程について説明し、各関係者の役割を確認した。

3.2 ユースクラブの設立および運営

3.2.1 設立および代表対象運営トレーニングの実施

<設立>

ハザン省およびライチャウ省において、郡若者連合と連携してユースクラブを設立した。ハザン省では2022年8月16日~21日に8つの対象コミュニティでユースクラブを設立。農業および畜産技術トレーニ

ングの全受講生の中から合計 205 人（女性 115 人、男性 90 人）がメンバーとなった。ライチャウ省では 2022 年 5 月 15 日～9 月 26 日に 5 つの対象コミュニティでユースクラブを設立。生計向上トレーニングの受講者の中から合計 87 人（女性 60 人、男性 27 人）がメンバーとなった。各クラブで、会長、副会長、書記、会計を担う 4 人を選定し、クラブの運営規定および活動スケジュールを策定した。今後、四半期ごとにユースクラブ集会を開催し、生計活動について情報共有し、コミュニティをより良い地域にしていくために協力しあっていく。

<代表対象運営トレーニング>

ユースクラブの設立後、若者連合職員が講師となり、各クラブの代表メンバーに対して運営トレーニングを実施した。ハザン省では 2022 年 9 月 17 日～11 月 18 日に合計 42 人（女性 20 人、男性 22 人）、ライチャウ省では 2022 年 11 月 4 日～5 日に合計 22 人（女性 15 人、男性 7 人）のメンバーに対してトレーニングを実施した。トレーニングでは、リーダーの役割、クラブ目標の立て方、クラブ運営計画の作り方、クラブ集会の開催方法などについて指導した。

3.2.2 クラブ集会の開催および運営サポート

郡若者連合と連携し、ユースクラブ集会の運営をサポートした。ハザン省では 2022 年 8 月 20 日～2023 年 2 月 28 日に各ユースクラブが 3 回の集会を開催し、生計活動を実施する上での課題、活用できるコミュニティ内外のリソースの確認、生計活動の成功事例について協議した。

ライチャウ省では、2022 年 11 月 1 日～2023 年 2 月 28 日に各ユースクラブが 3 回の集会を開催し、1 年次に開発したトレーニングマニュアルなどを活用し、ジェンダーに基づく障壁や偏見、ジェンダー平等、収入を向上させるために必要な知識などについて理解を深めた。

3.2.3 学び合いのためのコミュニティ間視察訪問

郡農業開発局と連携し、ハザン省では 2023 年 1 月 14 日～2 月 16 日に学び合いのためのコミュニティ間視察訪問を 8 か所を実施し、ユースクラブメンバーや地方行政職員を含む 228 人（女性 117 人、男性 111 人）が参加した。ライチャウ省では 2022 年 12 月 24 日～2023 年 1 月 10 日に同様の視察訪問を 5 か所を実施し、ユースクラブメンバーや地方行政職員を含む 110 人（女性 72 人、男性 38 人）が参加した。

対象コミュニティで実施されたトレーニングの成果を視察し、学んだ知識の共有を行ったほか、これまでに直面した課題、今後の連携方法などについて議論した。

3.3 地域行政や経営者による若者への支援強化

3.3.1 行政との対話フォーラムの開催

郡女性連合および郡若者連合、郡農業農村開発局、郡農業サービスセンターと連携し、若者と行政の対話フォーラムを開催した。ハザン省では 2023 年 2 月 16 日～23 日に開催し、ユースクラブのメンバー、地域住民、地方行政職員などを含む合計 121 人（女性 62 人、男性 59 人。うち計上対象者 102 人）が参加した。ライチャウ省では 2023 年 2 月 23 日に開催し、ユースクラブのメンバー、地域住民、地方行政職員などを含む合計 72 人（女性 42 人、男性 30 人。うち計上対象者 62 人）が参加した。対話フォーラムでは、地方行政職員から若者の生計向上につながる行政の政策や支援が紹介され、質疑応答も行われた。若者からは、1 年次のトレーニング受講者、特に若い女性の生計活動の成功体験の共有や政府からの生計向上に関する支援の必要性などについての提言を行った。これらの活動を通して若者と地方行政の連携

が強化され、将来的に地方行政計画に取り込まれることが期待される。

3.3.2 官民パートナーシップワークショップの開催

郡女性連合および郡若者連合に加えて、ハザン省は郡農業農村開発局と、ライチャウ省は郡農業サービスセンターと連携し、官民パートナーシップワークショップを開催した。ハザン省では2022年12月30日～2023年2月22日、ライチャウ省では2023年2月25日に開催し、ハザン省では農業農村開発局職員、女性連合職員、若者連合職員、地域の起業家、ユースクラブのメンバー、地域住民、地方行政職員などを含む123人（女性67人、男性56人）、ライチャウ省では農業サービスセンター職員、女性連合職員、若者連合職員、地域の起業家、ユースクラブのメンバー、地域住民、地方行政職員などを含む50人（女性29人、男性21人）が参加した。ワークショップでは、郡農業農村開発局職員および農業サービスセンター職員がファシリテーターを務め、若者が受講したトレーニング内容や彼らの起業意志が共有されたほか、行政の政策、起業家の経験談などが紹介された。

3.4 若者による生計活動例の情報発信

3.4.1 ニュースレターの発行

郡女性連合、郡若者連合、農業および畜産技術トレーニングの全受講生に加えて、ハザン省は郡農業農村開発局と、ライチャウ省は郡農業サービスセンターと連携し、1年次および2年次の生計活動の事例を紹介するニュースレターを計2回作成した。ニュースレターにはケースストーリーのほか、1年次、2年次の活動内容および成果、3年次の活動予定などの情報を掲載した。ニュースレターが多くの人目に留まるように、1年次および2年次に建設した研修センター、郡女性連合や郡若者連合などの事務所に設置した。また、ニュースレターに含まれる若者の成功体験や研修の様子は省の農業組合や女性連合の事務所にて展示されている。今後ニュースレターが若者や地域の起業家などの手に渡り、活動内容が周知され、農業および畜産技術トレーニングの全受講生が地域の若者のロールモデルとなることが期待される。

3.4.2 若者主導の事業例の動画制作

郡ラジオ・テレビ局およびユースクラブの協力のもと、事業例の動画を制作した。ユースクラブとの議論の結果、動画には対象地域の背景や事業概要、地方行政職員からのコメント、農業および畜産技術トレーニングの全受講生のケースストーリーを含めた。この動画は対象地域で開催されたイベントやワークショップですでに共有されており、3年次の農業および畜産技術トレーニングの全受講生を募集する際にも活用する。また、省ラジオ・テレビ局や郡、コミューン、村レベルのラジオ局の公式ホームページにも掲載することで、多くの人が見聴することを見込んでいる。動画の視聴を通して、農業および畜産技術トレーニングの全受講生が地域の若者のロールモデルとなり、地方行政や地域の起業家が若者の起業を支援する体制が強化されることが期待される。

<p>(3) 達成された成果</p>	<p>1. 若者の生計向上能力強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 事後テストで正解率 80%を獲得するトレーニング受講者（目標 80%）：88%（ハザン 85%、ライチャウ 92%） （両省において受講者を対象に実施した事後テストの結果） トレーニング受講者のうちトレーニングで習得した知識や技術を使って 1 年以内に収入を 10%以上増加させた若者（目標 70%）：88% （1 年次受講者に対しハザン省では 192 人（640 人中）の女性に、ライチャウ省では 120 人（400 人中）に聞き取り調査を実施した結果） <p><確認方法></p> <ul style="list-style-type: none"> トレーニングの事後テストの結果 トレーニング後に行うモニタリング、追跡調査 <p>この成果から当事業は「持続可能な開発目標（SDGs）」の目標 1「あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる」（1.1）および目標 8「包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する」（8.6）に貢献したといえる。</p> <p>2. 女性の経済活動への参加促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 世帯経済の管理に参加するようになった女性の増加率（目標 20%）：202%（32%から 97%に増加） （2 年次女性受講者のうちハザン省では 123 人（410 人中）に、ライチャウ省では 72 人（241 人中）に聞き取り調査を実施した結果） <p><確認方法></p> <ul style="list-style-type: none"> トレーニング受講者リスト ユースクラブ定期集会での調査 コミュニンイベント後の聞き取り調査 <p>この成果から当事業は「持続可能な開発目標（SDGs）」の目標 1「あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる」（1.1）、目標 5「ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う」および目標 8「包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する」（8.6）に貢献したといえる。</p> <p>3. 若者の収入向上を支援する環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 若者の生計活動支援に協力する地方行政および経営者の数（目標 5 人）：9 人（ハザン 6 人、ライチャウ 3 人） <p><確認方法></p> <ul style="list-style-type: none"> 若者の生計活動モニタリング調査 <p>この成果から当事業は目標 8「包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する」（8.6）に貢献したといえる。</p>
--------------------	--

<p>(4) 持続発展性</p>	<p>1. 若者の生計向上能力強化</p> <p>トレーニング受講者はコミュニンの集会や SNS、ニュースレターを使って、生計活動の成功例をコミュニン内外の多くの若者やその他住民に発信することができた。それが彼ら自身の生計活動の改善や収入増加の一助となった。また郡農業農村開発局および郡農業サービスセンターの職員とともに全トレーニングを企画、実施したことで、職員がトレーニングのノウハウを取得することができた。事業終了後は、このノウハウを地域行政が実施する職業訓練に活かし、地域で実施する職業訓練の質を上げていくことが期待される。</p> <p>2. 建設した建物の維持・管理方法</p> <p>当事業で建設した7つのコミュニンの研修センターは、完成後、各コミュニンに譲渡した。適切な維持管理が行われるようにトレーニングを実施し、コミュニンの維持管理責任を明記した引渡書を取り交わした。これに伴い、コミュニンは引き渡し後、維持管理にかかる費用を自ら負担するよう予算を確保した。建設された7つの研修センターは、各コミュニンの若者をはじめとした住民が情報収集やミーティングのために活用している。今後、コミュニンリーダーやユースクラブメンバーが自ら豊富な経験や知識を持つ地元の人材を講師として動員し、研修を行うことも期待される。</p> <p>3. 地域行政や経営者による若者への支援強化</p> <p>当事業の終了後、地元行政による若者主導の経済活動への支援が継続できるよう、当事業は主に郡、コミュニンレベルの行政機関と連携して実施した。対象となる若者だけでなく、郡農業農村開発局および郡農業サービスセンター、郡女性連合、郡若者連合の職員を講師や指導員として積極的に巻き込むことで、彼らの能力を強化することができた。これにより指導能力の向上に加え、若者、特に女性が生計活動への理解を深め、より有効で効率的な若者への技術的、経済的支援が継続して行われる環境を構築することができた。また2年次の終了時ワークショップには省レベルの行政機関職員も参加し、今後の郡やコミュニンレベルとの連携についても協議された。今後、ユースクラブメンバーと地方行政が協力し、地方行政計画にユースクラブによる提言が取り込まれることが期待される。</p>
------------------	--